

地域における大学スポーツ資源の有効活用

～ 今後の展開と課題 ～

スポーツ庁委託事業
令和3年度 スポーツスペース・ボードレスプロジェクト
(学校体育施設の有効活用推進事業)

1. 本学のご紹介
2. 委託事業への応募の背景
3. 本学のスポーツ資源
4. 事業内容(①施設予約システム②イベントの開催③視察)
5. 今後の展開と課題

1. 本学のご紹介

1. 本学の紹介

- 開 学 : 明治9年(1876)
- 建学の理念 : 「報恩感謝」「行学一体」
- 所在地 : (日進キャンパス) 愛知県日進市岩崎町
(名城公園キャンパス) 名古屋市北区
(楠元・末盛キャンパス) 名古屋市千種区



- 学部学科(9学部16学科)

文学部(歴史学科・英語英米文化学科・グローバル英語学科・日本文化学科・宗教文化学科)

心身科学部(心理学科※2022年4月心理学部開設・健康科学科・健康栄養学科)

商学部(商学科)・経営学部(経営学科)・経済学部(経済学科)

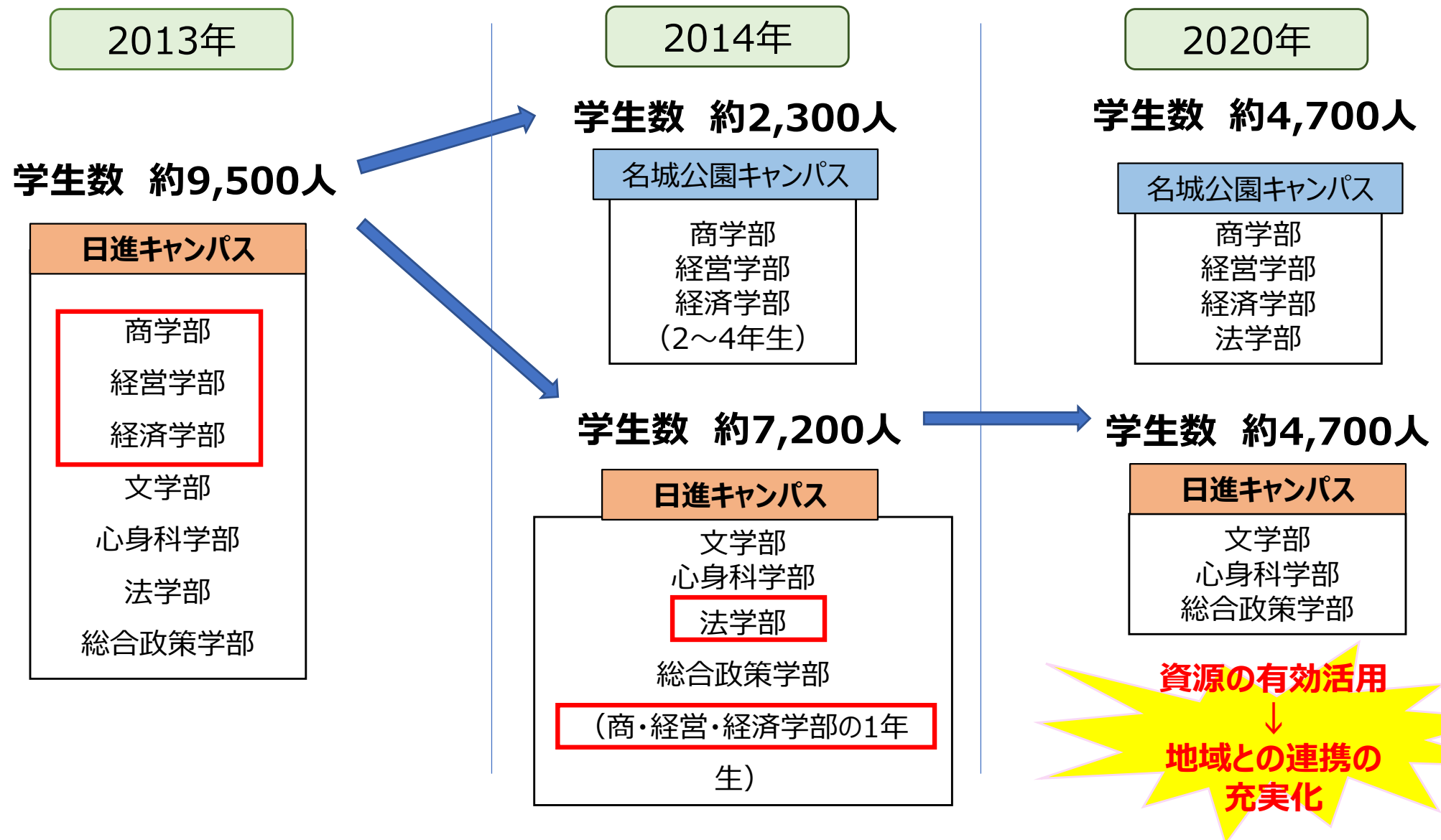
法学部(法律学科・現代社会法学科)・総合政策学部(総合政策学科)

薬学部(薬学科)・歯学部(歯学科)

- 学生数 : 約11,000人

2. 委託事業への応募の背景

2. 委託事業への応募の背景



3. 本学のスポーツ資源

3. 本学のスポーツ資源（ハード面）

広さは東京ドーム約11個分。
総敷地面積581,095m²を誇る、愛知学院大学のメインキャンパス。

- ・グラウンド（第1～第4）
- ・AGUスポーツセンター
- ・アスレチックトレーニングセンター
- ・野球場
- ・サッカー場
- ・テニスコート（13面）
- ・ゴルフ練習場
- ・研修会館（200名宿泊可能）
- ・記念講堂（1700名収容）

など

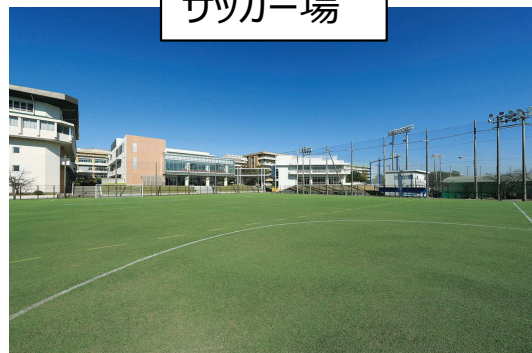


3. 本学のスポーツ資源（ハード面）

第1グラウンド



サッカー場



野球場



テニスコート



アリーナ



プール



フィットネススタジオ



剣道場



相撲場



柔道場



馬術場



弓道場



3. 本学のスポーツ資源(ソフト面)

健康指導、運動指導、スポーツ大会、スポーツ体験教室など担当可能

心身科学部・教養部スポーツ科学教員

- スポーツ、医療、健康増進、栄養など多様な分野を専門とする教員 (約50名)

心身科学部学生

- スポーツや健康に携わる職業を志望する学生
- 保健体育教諭や養護教諭を志望する学生 (約650名)

運動部指導者

- 野球・サッカーの元プロ選手など専門性が高い指導者 (約20名)

運動部学生

- 全国レベルの運動部 (硬式野球、サッカー、バレー、ラグビー、ゴルフ、硬式テニス、ソフトテニスなど) (約250名)



4. 委託事業の内容

4. 事業内容

【 ICTによる情報管理（事務作業の効率化） 】

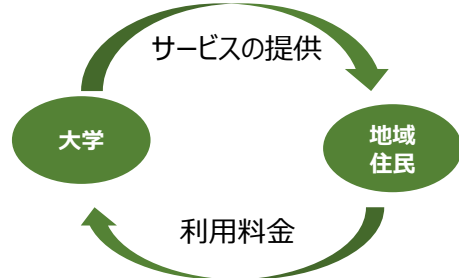


- ・ 施設の利用状況をリアルタイムで把握
- ・ 一般利用者（学外者）の登録制度

「気軽に使える」施設の開放

体育施設の一般開放

例：トレーニング室・プール・テニスコート・ゴルフ練習場等

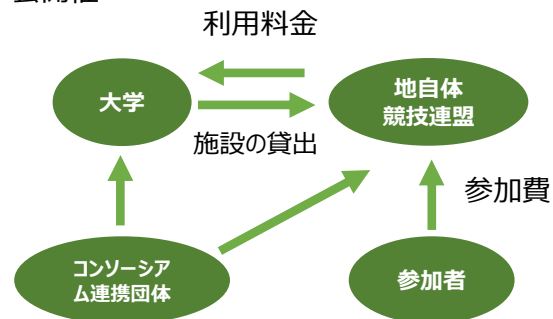


- ・ 2015.10～ 一般開放を開始（プール・トレーニング室）
- ・ 2021.10/1～ 週2日トレーナーを配置
- ・ 利用料：1回 300円
- ・ 年間利用者数：延べ約3,000人が利用（2019年度）

大会の開催・会場提供

自治体や競技連盟と連携した中規模大会の開催および会場提供、マイナースポーツの普及・振興

例：市民体育大会の開催や小中学校の大会開催

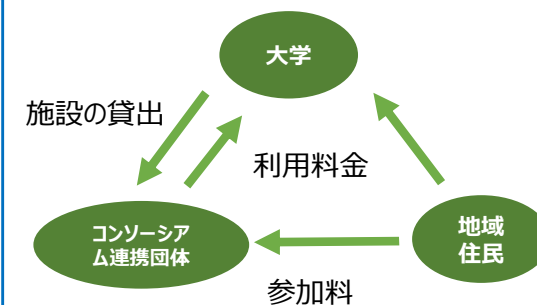


- ・ 日進市中学校スポーツ大会への会場提供
- ・ 学生競技連盟への会場提供
- ・ NPO法人へ活動場所の提供

コンソーシアムでの連携事業

スポーツ・健康づくりによるまちづくりコンソーシアムでの連携事業展開

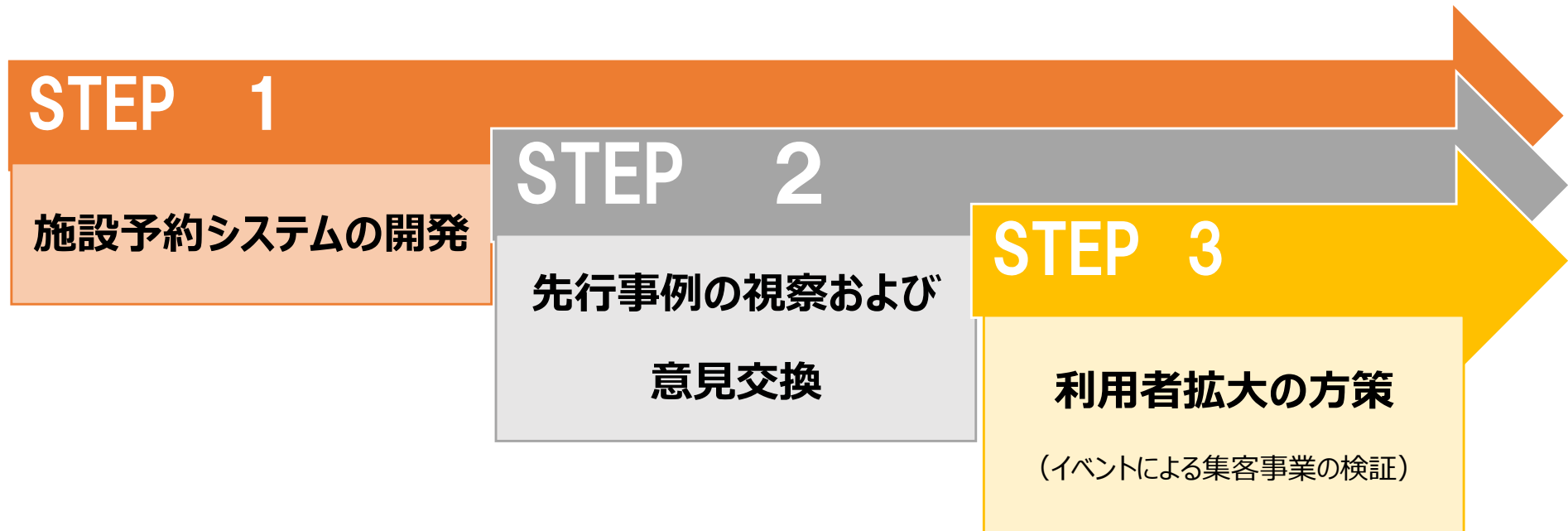
例：水泳教室やテニス教室等の開催や幼児や小学校低学年児童対象のスポーツ体験教室の実施



名称：スポーツ・健康づくりによるまちづくりコンソーシアム

【参加団体】本学を含め16団体
（自治体・民間企業・民間団体）

4. 事業内容



4. 事業内容(①施設予約システムの開発)

現状

施設管理 : (株) コパンに委託

予約方法 : 紙ベースでの予約

学生 → 前月の5日までに申請書(紙)を提出。

概ね利用日利用時間は固定されており、利用しなかった場合もキャンセルの手続きは不要。

外部 → 電話にて空き状況を把握。空いていれば、申請書(紙)を提出。学内手続き完了後、振込にて料金支払い。

(個人借用は認めていない。自治体や学生が所属している競技連盟のみ)

※教室・会議室など学内向けの施設予約システムはあるが、学生・学外者に向けてのシステムではない。

予約システムに係る問題点

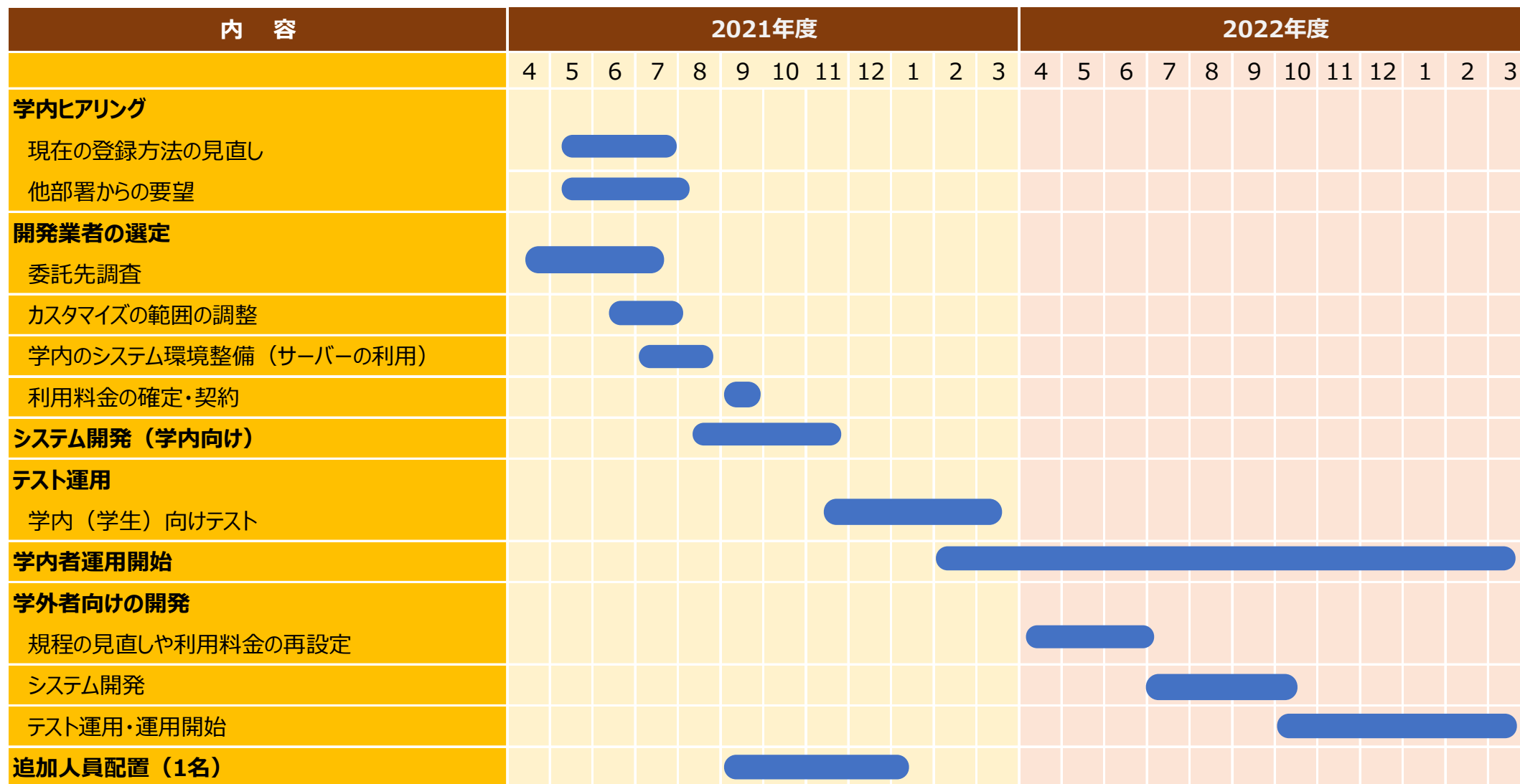
- ✓ 施設利用者の特定 : 学外者の利用をどこまで(団体のみ? 個人は?) 認めていくか
- ✓ 利用施設の限定 : 施錠が出来ない場所の貸出をどうするのか → 「スマートロックシステム」の視察
- ✓ 料金授受の問題 : 多くの予約システムではクレジットカード決済も可能ではなるが、学内の財務部門との調整が必要
- ✓ システム環境の整備 : サーバーの設置場所。学内の物を利用するか、業者に委託するか。
- ✓ 現在の予約システムとのすみ分け : 施設によって予約システムが異なることの手間(費用負担増)
- ✓ 費用負担 : 費用対効果の分析 (初期費用 100,000円 月額費用 28,500円)



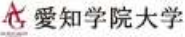
まずは、学内(学生利用)の施設予約システムに限定し、学内調整を図りながら、学外者にも適用していく

4. 事業内容(①施設予約システム)

施設予約システムの導入スケジュール



4. 事業内容(①施設予約システム)


[ログイン](#)



予約はこちら

タイプ

カテゴリー下位2

カテゴリー下位3

[予約状況](#)

予約枠検索

タイプ

カテゴリー下位2

カテゴリー下位3

[<](#)
[2022/01](#)
[>](#)

Week

時間...

Week

日に...

1ヶ...

☐ 空きなし
 ☐ 空きあり
 ☐ 予約済み

日	月	火	水	木	金	土
						01
02	03	04	05	06	07	08
09	10	11	12	13	14	15
16	17 アリーナA	18 アリーナA	19 アリーナA	20 アリーナA	21 アリーナA	22 アリーナA
23 アリーナA	24 アリーナA	25 アリーナA	26 アリーナA	27	28	29 アリーナA
30 アリーナA	31 アリーナA					

4. 事業内容(①施設予約システム)

予約枠時間一覧

[アリーナA]
アリーナA

2022/01/26(水)

■ 空きなし ■ 空きあり ■ 予約済み

時間	空き情報
09:00 ~	○
10:00 ~	○
11:00 ~	○
12:00 ~	○
13:00 ~	○

予約情報

カテゴリー	アリーナA
予約枠名	アリーナA
料金	60分 0円
利用日	2022/01/26(水) 変更
利用時間	09:00 ~
予約時間	必須
備考	

60分
120分
180分
240分
300分
360分
420分
480分
540分
600分
660分
720分

戻る 内容確認へ進む

□ システム開発について

- ✓ ほぼパッケージの内容で対応可能（今後学外者向けや料金授受に関して検討していく）
- ✓ アルバイト職員1名増員 [9月（開発）～1月（テスト運用開始）]
 - ・ 入力作業 ・マニュアル作成

4. 事業内容(②先行事例の視察および意見交換)

□ 施設貸出に関する問題点として、施設の管理（鍵の授受問題）についての調査・視察

視察先： 沖縄県うるま市（うるま市教育委員会・うるま市立伊波小学校）

スマートロックシステム



扉に設置されたテンキー



扉内部



携帯電話に解除ナンバーを送信し、ドアを解除



タブレット形式

4. 事業内容(③利用者拡大の方策)

イベントの実施（10月に配置したトレーナーによるイベント）

肩こり・腰痛予防教室

内容 : バランスボールとストレッチポールを使ったストレッチ&エクササイズ
対象 : 15歳以上（中学生不可）
日時 : 1月29日（土） ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
人数 : ①②各15名
料金 : 300円

高校生アスリート向け 測定会（パワー・瞬発力・持久力・体脂肪率）

内容 : トレーニング機器を使った体力測定
対象 : 高校生
日時 : 1月22日（土） ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
人数 : ①②各5名
料金 : 300円

→ 両イベント後、新規講習会を実施し、今後の利用を促す

4. 事業内容(③利用者拡大の方策)

【アンケート結果】

肩こり腰痛予防教室

参加者 : ① 13:00~14:30 13名
② 15:00~16:30 15名
回答者 : 27名



① 年齢

年齢	人数
～50歳	4人
51～60歳	7人
60歳以上	16人

② イベントを何で知りましたか？

内容	人数
新聞折込チラシ	23人
大学のホームページ	1人
知人の紹介	3人

③ イベント参加の理由（複数回答可）

	人数
肩こり・腰痛改善のため	19人
運動不足のため	12人
初回利用のきっかけ	7人
知人から誘われた	4人
料金が安かった	3人
施設が見たかった	1人
とりあえず参加してみた	1人

4. 事業内容(③利用者拡大の方策)

④ イベントの感想

	人 数
大変満足	9人
満足	12人
ふつう	5人
やや不満	1人

⑥ 今後行って欲しいイベント

	人 数
ヨガ体験・ヨガ教室	4人
プールを使ったイベント	3人
体操	1人
マシンを使ったトレーニング	1人
ストレッチポール	1人
施設が見たかった	1人
とりあえず参加してみた	1人

⑤ このようなイベントがあればまた参加したいですか？

	人 数
是非参加したい	16人
都合が合えば参加したい	11人
参加しない	0人

⑦ 大学で使用してみたい施設

	人 数
プール	7人
トレーニング室	3人
学食	3人
卓球場	2人
テニスコート	1人

4. 事業内容(③利用者拡大の方策)

【告知方法の検証】

- 大学ホームページにて案内
- 大学近隣地区に新聞折込チラシ広告配付(約88,000枚)



- 肩こり・腰痛予防教室は、受付開始から半日で定員充足
- ホームページでの告知は反応なし
- 以前、市の広報誌で告知をしたが、反応はイマイチ

利用者数

12月まで 週4人程度 → 折込チラシ配布後 週40人程度に増加

周知方法は、新聞折込チラシが効果が大きいと再確認された



5. 今後の課題

5. 今後の展開と課題

スポーツ施設の貸出について

- 利用状況を把握できたとしても、利用率の高い平日の夕方や土日の日中などは、学生が利用するため、貸し出しが困難な状況が考えられる。
→ 試験期間中にスポーツ施設を一体化して貸出すなどの工夫が必要
- 学外者（団体・個人）の利用登録規程 → 学校施設を学外者に貸出することの理解
- 利用料金の設定（サービス？収益事業？）
- 利用料金の授受の方法
- 利用者を促進させるための周知活動 → 費用の捻出が可能なのか？

学内関係部署との調整が必要

地域との連携事業について

- 自治体・企業・スポーツ団体など、同じようなスポーツイベント（単発のもの）を各々で開催している。
→ 協力しあい、複数回実施するなど、より充実した内容に
- 人件費を削減している中、新たな人材を充てることが難しいが、学生の教育の一環として事業を展開していく
→ 放課後スポーツ教室等



ご清聴
ありがとうございました

